

介護人間力研修

■これからは「人間力」が介護事業所の差別化のポイント
優れた職員を育成するには、どうすれば良いのでしょうか？ よい介護サービスを提供するためには、技術力のスキルを磨くだけでは不十分なのです。これからは、いよいよ「人間力」の時代が到来です。

「何をやるか」ではなく、「誰がやるか」で、ご利用者様やご家族様の感動（満足度）が決まります。

なぜならば、同じことをやっても、ある人がやれば「感謝の声」「感動の声」が返ってくるのに、別の人がやれば「苦情」や「不平不満の声」が還ってきてしまうからです。

お客様の満足は、職員の質で決まります。介護の仕事は、体と心を扱う仕事です。

研修では、介護現場で働く人々が人間力を磨き、利用者やその家族を、そして自分自身を幸せにするための考え方・方法をお伝えします。

■全国の介護事業所、受講者延べ人数 10,380 人突破！

(※CB-TAG での合計受講者数)

参加した職員の「意識」と「行動」が変わった！

職員が自ら考え、行動をし、ご利用者様を感動させる介護現場づくり。

それが、、、介護人間力研修です。

■介護人間力研修により期待される効果

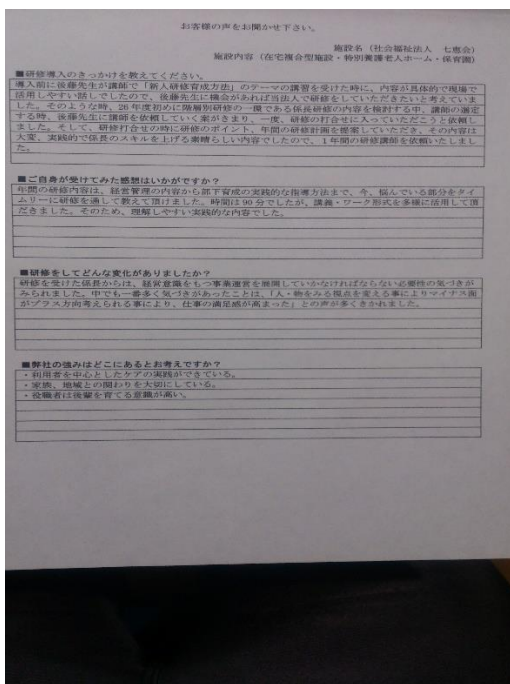
- ・感謝の心を持ち「ありがとう」の言葉が いっぱいの職場になります。
- ・不平不満のようなマイナス言葉のない、常にプラスの言葉がでるような職場になります。
- ・「当たり前のこと」を「当たり前」ではなく、「当たり前以上の情熱を持って」できるようになります。
- ・「褒める」「励ます」「労をねぎらう」「存在価値を認める」「賛成の意を表す」「拍手をする」「熱心に相手の話を聴く」「丁寧に教えてあげる」といった、相手の気持ちを大切にしたい行動がとれるようになります。
- ・「握手する」「手を添える」「腕を組む」「手をつなぐ」「肩を組む」「ハグする」「ハイタッチをする」といった、相手との一体感を高める行動がとれるようになります。

■介護人間力研修のプログラム

- ・これからの人財に求められる 3つの能力・資質
- ・介護現場で重要なスキル（技術力）とは？
- ・介護の現場で“はたらく”ことの意義
- ・介護サービスの質を高める人間力（スキルとモラル）とは？

- ・人間力向上させるために、介護現場で具体的に何を実践すればいいのか？
- ・ご利用者様、ご家族様とのよりよいコミュニケーションのための基本スキル
- ・介護現場に必要な人間力（スキルとモラル）の4つの要素
- ・「ありがとう」いっぱい介護の職場をつくる
- ・プラスのストロークの実験
- ・「ジョハリの窓」に隠された、本当の自分とは？
- ・利用者様の“心に栄養を与える”介護現場におけるプラスのストロークとは？
- ・介護現場に活かす「自喜喜他」の考え方
- ・「鏡の法則」で介護現場での人間関係を築く
- ・介護現場を生き生きさせるプラスの氣と起爆の心

■お客様の声



導入前に後藤先生が講師で「新人研修育成方法」のテーマの講習を受けた時に、内容が具体的で現場で活用しやすい話でしたので、後藤先生に機会があれば当法人で研修をしていただきたと考えていました。そのような時、26年度初めに階層別研修の一環である係長研修の内容を検討する中、講師の選定する時、後藤先生に講師を依頼

していく案がきまり、一度、研修の打合せに入っていたかと依頼しました。

そして、研修打合せの時に研修のポイント、年間の研修計画を提案していただき、その内容は大変、実践的で係長のスキルを上げる素晴らしい内容でしたので、1年間の研修講師を依頼いたしました。

年間の研修内容は、経営管理の内容から部下育成の実践的な指導方法まで、今、悩んでいる部分をタイムリーに研修を通して教えて頂きました。時間は90分でしたが、講義・ワーク形式を多様に活用して頂きました。そのため、理解しやすい実践的な内容でした。

研修を受けた係長からは、経営意識をもつ事業運営を展開していかなければならない必要性の気づきがみられました。

中でも一番多く気づきがあったことは、「人・物をみる視点を変える事によりマイナス面プラス方向考えられる事により、仕事の満足感が高まった」との声が多く聞かれました。